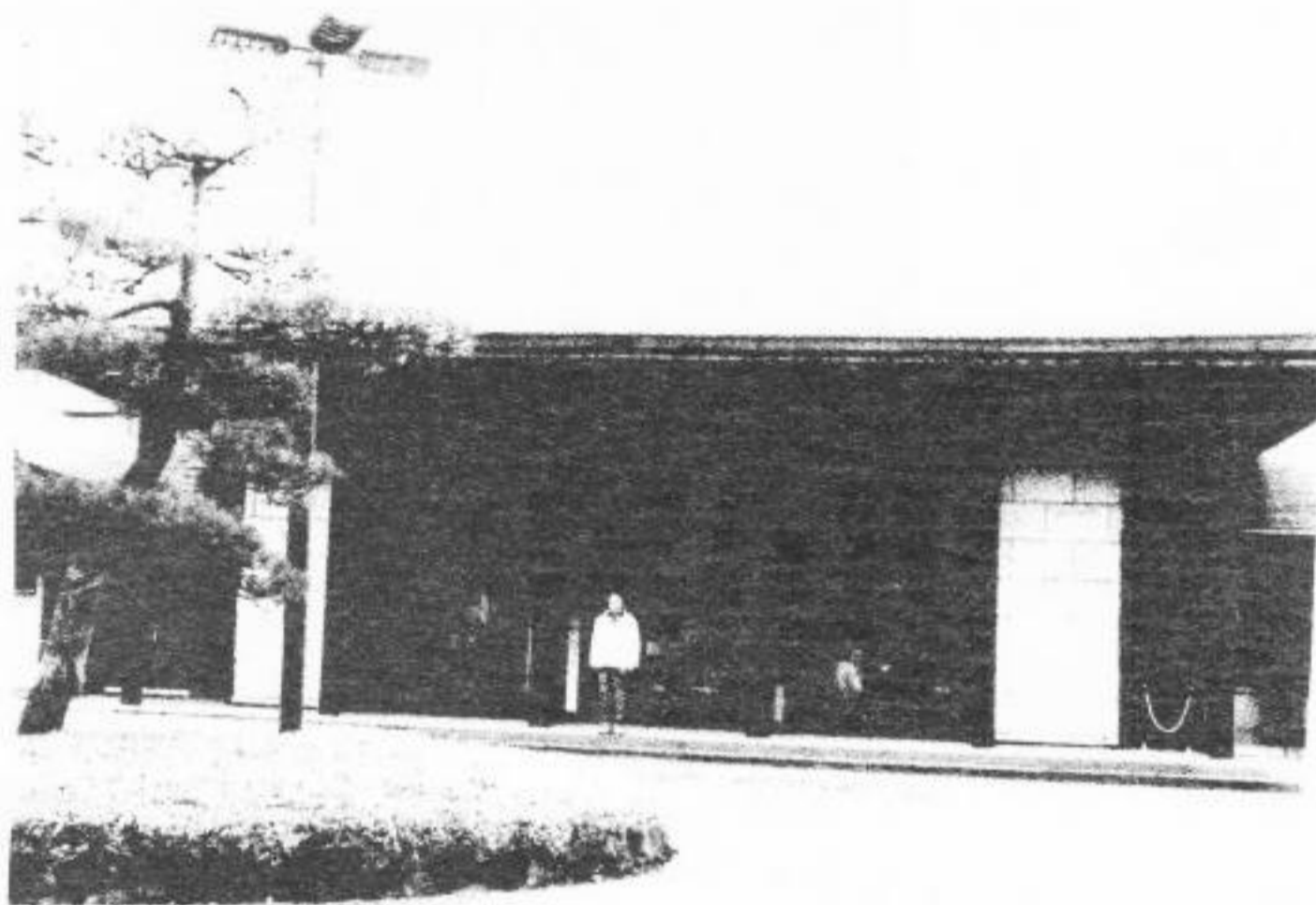


平成24年3月26日(月)

第425回 史跡めぐり

代々木周辺と 明治の森を散策

国立能楽堂の正面



NPO 法人越谷市郷土研究会

第425回 史跡めぐり

重要文化財、世界文化遺産を訪ね、大名庭園の系譜を辿り、
明治天皇崩御百年を偲ぶ

実施日 平成24年3月26日(月)

集 合 北越谷駅西口 午前7時15分

参加費 3500円(交通費、昼食、入館料、資料、保険料)

コース

北越谷駅 7:43 → 秋葉原(乗換) → 信濃町 9:00

- ◎ 聖徳記念絵画館
- ◎ 秩父宮記念スポーツ博物館
- ◎ 国立霞ヶ丘競技場見学
- ◎ 国立能楽堂見学
- ◎ 能楽堂「向日葵」で昼食
- ◎ 明治神宮本殿参拝
- ◎ 明治神宮御苑散策(清正井見学等)
- ◎ 文化館宝物展示室見学

原宿竹下通り明治神宮前駅へ

明治神宮前駅 (千代田線)で自由解散——3時予定

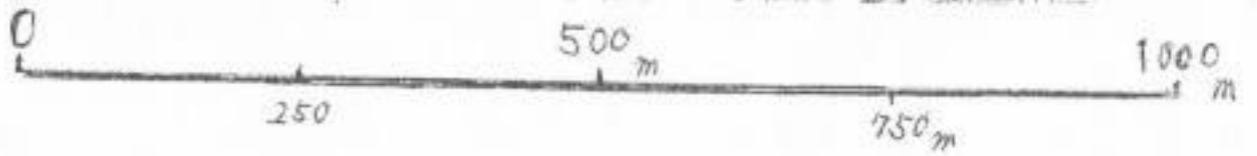
(帰路は各自負担)

案内者 常任理事 渡辺 和照
 常任理事 田端 功政

国立競技場と明治神宮近辺の地図



<22>



神宮外苑

千駄ヶ谷の地名は、この辺りの茅野原で日々千駄のカヤを刈り取ったことからうまれたとされる。

神宮外苑は、明治天皇の死後、大喪の礼が行われた青山練平場跡地に作られた。約30万平方メートルの苑内には、聖徳記念絵画館、明治神宮球場、テニスコート、ラグビー場が設けられ、スポーツの森ともよばれている。明治神宮が原宿に創建されてから、その外苑は整備された。



聖徳記念絵画館

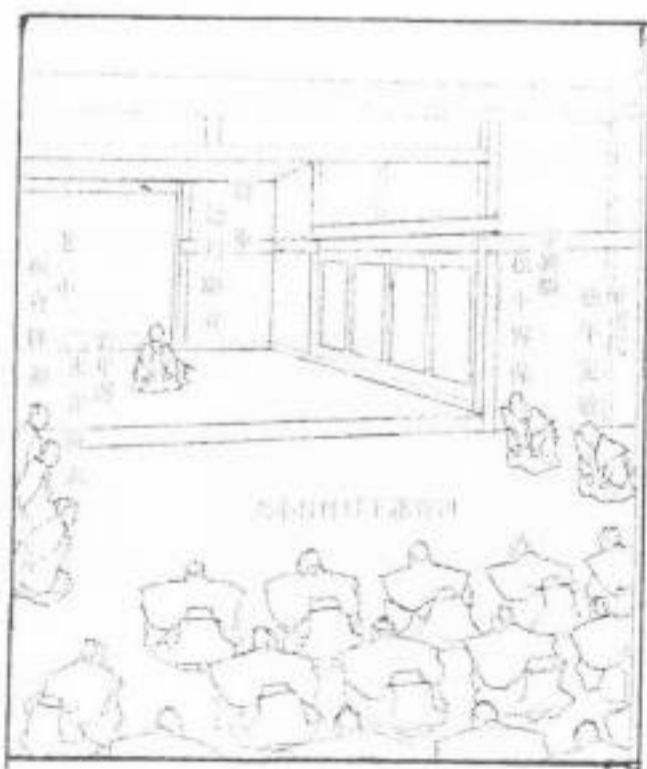


聖徳記念絵画館の聖徳とは、明治天皇、皇后（昭憲皇太后）の御徳のことです。絵画館は、大正15年に完成しました。明治天皇46年の在位は、日本国の近代化の時代でした。憲法の制定、議会政治の開設、教育の普及スポーツの奨励、産業の開発、外国との交流などを成し遂げました。

お二方のご一代の事績の数々を、当代の有名一流画家の手に成る大画面（3m×2.7m）80枚（日本画40枚、洋画40枚）が展示してあります。生きた明治史の教室と言えます。

第五図 大政奉還

絵は將軍慶喜が在京の重臣を二条城に集め、政権返還の決意を告る光景



第十三図 江戸開城談判

絵は西郷と勝が会談する光景



オリンピックの用具品

聖火リレー用トーチ
東京大会。
サッカーユニホーム
ベルリン大会

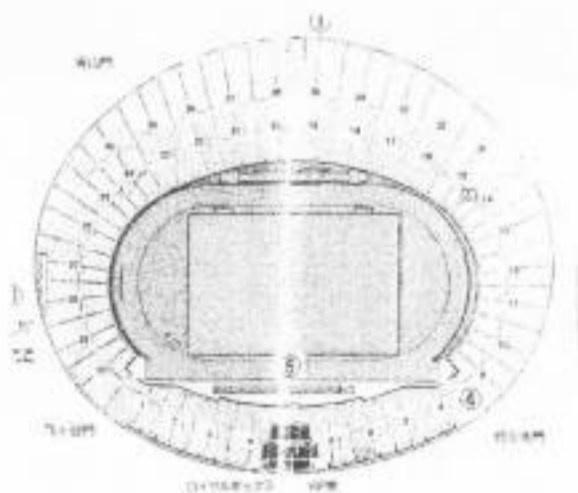
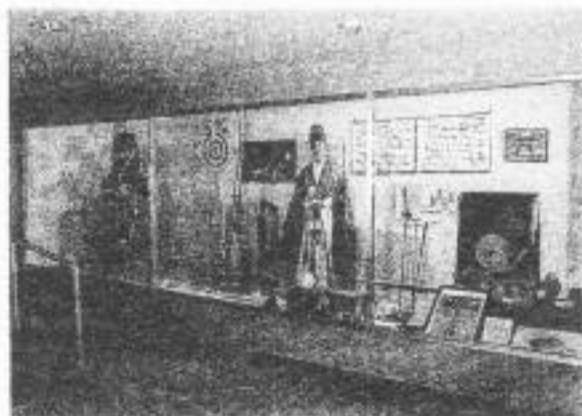


近代スポーツの歴史

野球用具(明治～大正)
マナスル初登頂のピッケル

スポーツ博物館

日本の古いスポーツ、カ石、
蹴鞠、流鏝馬に関する物の
の展示。



国立競技場

国立競技場は1958年、明治神宮外苑陸上競技場の跡地に建設され、1964年の東京オリンピックの主会場となったほかさまざまな競技の会場として用いられ、わが国の代表的なスポーツ施設として親しまれています。

国立競技場メインスタンドの像

左の像「勝利の女神像」
栄光を意味するギリシャの女神月桂冠を持つ



右の像「ノミノスクネ像」
「力の象徴」と「相撲の元祖」





学徒出陣五十周年碑

昭和十八年十月二日、勅命により全国の大学、高等学校、専門学校の文科系生・

生徒の徴兵猶予が停止された。この非常措置により同年十二月、約十万の学徒が戦場へ赴くことになった。

この年十月二十一日、ここ元・明治神宮外苑競技場において東京周辺七十七校が参加して「出陣学徒壮行会」が行われた。

平成五年十月二十一日

出陣学徒有志

国立能楽堂

国立能楽堂は、能楽の保存と普及を図るため昭和58年に創設された。

「定例公演」、「普及公演」、「狂言の会」の他、中学・高校生を対象とした「能楽鑑賞教室」を実施しています。

入門者、外国人の方に能楽を理解してもらうよう務めています。

また、能楽の後継者の育成事業として、ワキ方、囃子方(笛、小鼓、大鼓、太鼓)、狂言方の新人養成研修を行っている。

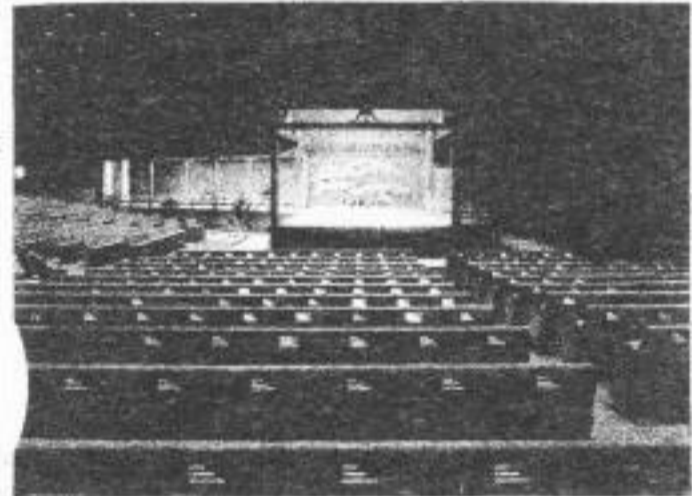
世界文化遺産に登録された。

併せて「展示室」には 能楽に関する面、装束、資料、写真等各種展示している。

定例公演 4月11日(水) 狂言「土筆(とくづくし)」と 能「桜川」

20日(金) 狂言「悪太郎」と 能「蟻通」

が予定されています。



能楽堂で昼食(向日葵)



中庭を望む位置にあり、美しい景観を眺めながらいただきます。すべてフリードリンク付き(ホットコーヒー、アイスコーヒー、紅茶、ウーロン茶)

明治神宮

北参道から入る、本殿参拝、

このあたりは、江戸時代初期には熊本藩加藤家の下屋敷であり、加藤清正の子忠広が住んでいたが、まもなく加藤家は絶え、その後井伊家の下屋敷となった。明治になると皇室御料地となり、大正9年(1920)明治天皇と正憲皇太后両陛下を祭神として明治神宮が創建された。72万平メートルの境内に20万の樹木で森林をつくっている。



清 正 井

明治神宮御苑は、南池を中心に雑木林が広がり「清正の井戸」と呼ばれ

加藤清正が掘ったとされる井戸がある。良気に満ち、手を合わせ祈ると願いがかなうともいわれている湧水やツ



ツジの植込み、菖蒲田、モミジ林などあり、四季折々で楽しめる。



二の鳥居

明治神宮の二の鳥居は木製の鳥居としては日本最大級で、高さ12m、柱と柱の間9.1m、柱の直径1.2m 空襲で焼失し、戦後再建された。

二の鳥居と一の鳥居の中間、参道の脇にモミの木がある、この木が「代々木」。代々受け継いだ大木の意味で、これが代々木の地名となった。

特別展「昭憲皇太后と日本赤十字社」

平成22年は 昭憲皇太后御生誕160年でした。昭憲皇太后は明治天皇の皇后として在世中とくに女子教育の振興や、博愛、慈善の事業について極めて大きな役割をはたされました。なかでも、赤十字事業には深い御心をそそがれました。「昭憲皇太后と日本赤十字社」関係の資料が展示されています。

近くは JR 原宿、竹下通り、

JR 原宿駅は、大正13年(1924)竣工され東京で最も古い木造の駅舎。木造2階建て、尖塔がある屋根にハーフティンバー調の白い外壁は、イギリス風のアンティークな歴史的建物です。

若者に人気がある最先端ファッションの街「竹下通り」が近くにある。





明治神宮の武蔵野を思わせる苑路

<次の資料から引用しました>

- 1 東急都の歴史散歩(中)山手 山川出版社
- 2 東京 歩いて楽しむ36コース JTB
- 3 壁画開設 明治神宮外苑
- 4 上撰の旅 東京 昭文社
- 5 明治神宮のパンフレット

秩父宮記念スポーツ博物館

秩父宮記念スポーツ博物館は、「スポーツの宮様」としてスポーツ振興に多大な御功績を記念するため、国立競技場の中に開設されたスポーツ総合博物館です。千数百点が展示室に公開されています。

第18回オリンピック競技大会・東京大会(1964---昭和39年)

東洋で初めて開催されたオリンピックで、日本はこの時、金メダル16個、銀メダル5個、銅8個獲得した。

其の時の銀メダルとポスター



銀メダル



高跳び



オリンピックポスター

オリンピックのメダルたち

日本初の金メダル 織田幹雄(3段跳)

第9回アムステルダム大会・1928

年15.21mを跳んで優勝した。



日本初の金メダル 織田幹雄(三段跳)
第9回アムステルダム大会/1928年

友情のメダル 西田修平、大江季雄の神、二位、三位決定戦の時、日本人同士争うことをやめ、帰国後に銀と銅を半分づつ分けあった。



友情のメダル 西田修平、大江季雄
(棒高跳)

<4>

第11回ベルリン大会/1936年